



赤ちゃんはどうして目をつぶっているの

生まれた赤ちゃんはよくねむる

生まれてきた赤ちゃんは、ときどき泣きますが、ふだんはほとんどねむっています。お母さんの体の中で、へその「お」でつながって大きくなった赤ちゃんは、生まれたら、自分で呼吸をして生きていかなければなりません。

赤ちゃんの体は中で、これから生きていくうえで大切な体の機能を整えているため、エネルギーをたくさんついています。このため、赤ちゃんは、よくねむるのです。

また、栄養のたりた赤ちゃんは、ほとんど1日中ねむっていますし、1週間から半月たっても、赤ちゃんはねむっている時間はるかに長いのです。だから、よく目をつぶっているのです。

赤ちゃんはねむるのが仕事

半月から1か月たった赤ちゃんのなかに、よくねむっていて、いるのかいないのかわからない赤ちゃんもいます。

おなかがすくと目をさまして、泣いておちちをほしがります。飲んだあと、おしっこをして、また、いつの間にかねむります。このような赤ちゃんは、1日中ねむるのがまるで仕事のようなのです。

2～3か月たつと、目が見えてきて、起きている時間も長くなります。

(監修 保志 宏)

